

尚建会ニュース

SHO-KEN-KAI NEWS



2022年3月18日発行

尚建会のフューチャーデザイン 野津 弘 (尚建会会長・1976年卒)

2016年、建築学科の創立50周年記念事業を機に、卒業生から同窓会活動・尚建会の復活が切に望まれておりました。建築学科が建築学部建築学科となった事も契機となり、2021年4月、新体制の尚建会が再始動し、活動の基本的な方針となる目標を定めました。

- ① 学生と卒業生(社会)を繋ぐ
- ② 卒業生と建築学科・大学を繋ぐ
- ③ 卒業生同士を繋ぐ
- ④ 社会貢献・地域貢献を視野に入れた活動

コロナ禍であり、思うように集まることが出来ない状況の中で役員たちの努力により卒業生、教員、在

学生が気軽に懇談できる「尚建会サロン」の開催。オープンキャンパス等の大学行事への協力。総会・懇親会やゴルフ交流会の開催。卒業生、在生に対する情報発信のツールとしての「尚建会ニュース」の発行や、また、新入学生を対象に「建築を学び始めるあなたに贈る1冊の本プロジェクト(PPB)」等が決まりました。50年後、100年後に思いを馳せながら本会が在生と社会、卒業生と大学、卒業生同士を繋ぐ結節点の役割を果たすべく、これからの活動をデザインしてまいります。併せて尚建会の再始動が全学同窓会の活動に寄与できることを願っております。



東北工業大学建築学科同窓会尚建会のこれまでと期待 西條 芳郎 (前尚建会会長・1971年卒)

この春、建築学科同窓生の皆様へ、この紙面を伝えられることは喜びです。当初の尚建会時代には、まだ全学同窓会は無く、尚建会には会費も集め、各卒業年度ごとに世話人を決めて、定期的な集まりも行っていました。卒業生も増え、全学を支える全学同窓会の必要性から各学科同窓会を解散して、全学同窓会に結集することになりました。尚建会としては、尚建会の名前のまま学内外のメンバーと協議し、ささやかな形で会を継続してきました。昨年からは、全学同窓会に協同する尚建会とし

て野津現尚建会長を中心に再出発することとしました。2020年には建築学科が建築学部として拡大・強化され8,000名を超える卒業生を輩出した今、同窓会として建築学部といろいろな意味で卒業生と連携を図り、歴史ある本学の更なる基盤づくりに寄与できる体制の一助を同窓生が担い、大学・学科を横断する関係を話し合い、継続的に実行支援する活動を行う事は、互いに身近な関係性を再認識し、結果的には社会貢献へと昇華できる活動となる事を、これからの尚建会に期待します。



尚建会の再始動に期待します 石井 敏 (東北工業大学副学長・建築学部長)

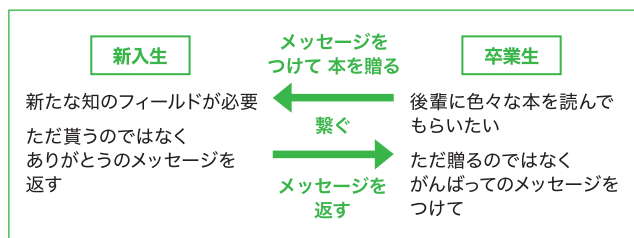
尚建会の新たな体制のものとしての再始動、心からお慶び申し上げます。大学・学科と同窓会とが日常的な関係性を構築し、また継続していくことは容易ではありません。同窓生の皆様へ、ふと本学科のことを思い出し、懐かしみ、また本学科の現状に思いを馳せ、気にかけていただけるような瞬間がつかれたらと考えております。そのためにも尚建会の今後の活動に大いに期待するところです。2016年の学科50周年の際には300名を超える方々にお集まりいただきました。それを機に、学科と同窓生との距離も縮まり、また複層的な繋がり

も生まれてきたように感じています。一方でそれ以降に着任した教員も多くを占めるようになりました。循環する組織の中で、その関係性を維持・継続するためには双方からの積極的な歩み寄りや意図的な関係性の構築も必要となります。尚建会と本学科の活動とがうまくシンクロし、また意識し合えるようなものになっていくことを期待しております。



建築を学び始めるあなたに贈る 1冊の本プロジェクト

建築の専門書、建築関連の本は高価、それに加えてネット、SNS等で情報はあふれているので若い人が本を読む機会が減ってきています。しかし、本は読んでほしい。そこで卒業生の皆様の蔵書から1冊を新入生の為に寄贈していただき、読んでもらおうと考えました。ただ単に本を寄贈するだけではなく、メッセージとメルアド、名刺を添えて贈ります。この情報から建築にかかわる職業と先輩の存在を感じてもらえればと思っています。ちょっと大げさに言えば東北工業大学建築学科の遺伝子の手渡しです。



尚建会では建築学部と協働して以下の活動を行っています。

東北を支える建設関連企業(卒業生)と 学生との交流会 (12月建築学部主催)



交流会会場の様子。冊子「東北を支える建設関連企業図鑑」を配布。



尚建会賞及び尚建会奨励賞の授与



卒業式での尚建表彰の様子。奨励賞は2年次成績優秀者に授与されます。

尚建会総会・懇親会の開催

本年から毎年開催する予定です。総会と懇親会の開催に加え、懇親イベントとしてのゴルフコンペも予定しております。(総会：6月25日、ゴルフコンペ：6月26日開催予定)

2016年10月8日に開催した 建築学科50周年記念「卒業生の集い」

“OB・OGのツナガリ”をテーマに約300名のOB・OG、退官・現役の先生方が集う、盛大な式典となりました。約1年前から数回実施したプレ企画をはじめ、学科の先生方、卒業生、在学生が一丸となって取り組みました。今回の尚建会再始動のきっかけとなった大イベントです。



第1回尚建会サロンの開催

東北工業大学名誉教授で本学の卒業生でもある谷津憲司先生が、定年退職後にご自身の建築技術を生かしたJICAのボランティア派遣の活動についてご紹介していただきます。



**「海外ボランティア
南米コロンビアの都市と建築」**

開催日 | 2022年3月26日(土)

16:00-

会場 | 東北工業大学一番町ロビー

※視聴情報は同窓会HP、学内チラシ参照



谷津憲司(東北工業大学名誉教授・1969年卒)

1971年-2015年、東北工業大学工学部建築学科勤務

2016年-2018年、JICA海外ボランティア(都市計画)派遣先：コロンビア共和国(首都ボゴタ)

建築学部ホームページ、ニュース「CAMPUS NOW」のご案内

<https://www.arch.tohtech.ac.jp/category/now>

建築学部の“今”が分かる情報が満載です。また、石井建築学部長発行の「建築学部通信」バックナンバーもこちらから閲覧できます。



社会に向け親和性のある特徴を生かした建築学部の船出が始まる機運に建築学科50周年に集った多数の有志の熱い思いが再燃し、新体制にて学科同窓会としてリニューアルする運びとなりました。同調するスタイルで新会長の掲げる理念を基本とし、あらゆる方々とのネットワークを拡

大し交流を目的としたハブ(軸)を目指し、学内外関係なく社会性を深めるきっかけとなればとの趣旨でニュースとして皆様に発信して参ります。本誌の発刊に際して在校生、卒業生の皆様のご活躍情報等を掲載する予定でありましたが、次号にご期待ください。(大平宏行・1979年卒)

発行日 | 2022年3月18日

発行者 | 東北工業大学建築学科同窓会 尚建会
お問い合わせ | funaki@tohtech.ac.jp

東北工業大学同窓会ホームページ
<http://koudai-dousokai.net>
PDF版尚建会ニュースはこちらから

